

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



AKITA SDGs

iKEYAKUグループ SDGsへの取り組み

当社グループは、地球規模の課題解決に向けて国連が掲げた国際目標、SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) に賛同し、秋田県 SDGs パートナーへ登録をいたしました。

2030 年までの SDGs 達成に向けた方針及び取り組みを次のとおり宣言いたしました。

1. 共に生きる社会の実現にむけて
2. 多様な人材が活躍成長でき安心して働ける環境づくり
3. 脱炭素に向けた取り組み

事業活動を通じ、お客様、地域社会の持続可能な発展と、従業員の暮らしを支える経営を進めて参ります。

SDGs とは？

SDGs (エスディーゼズ) とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」で掲げられた、2030年までの国際社会全体の目標です。17のゴール(目標)と169のターゲットから構成され、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な分野に総合的に取り組むこととされています。

出典：秋田県公式サイト 美の国あきたネット

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



取り組み1

共に生きる社会の実現に向けて

【2030 年に向けた指標】

iKEYAKUグループ全社員の 50%以上に「サービス介助士 (ケアフィッター)」の資格取得

サービス介助士とは・・・

多様な人が暮らす社会で、誰もが社会参加できるように必要なことをその人、その場にあったやり方でできる (= ケアをフィットする) 人になるための資格です。

サービス介助士 資格が考える “おもてなし” とは？

おもてなし (ホスピタリティ) の考えには「ゲストもホストも “共に喜ぶ”」共生関係が根底にあります。おもてなしの心 (ホスピタリティ・マインド) は、自分自身の問題であり、「今の出会いは一生の中でたった一つの最高の出会い」という「一期一会」の考えのもと、人と向かい合って、「手伝って良かった」「手伝ってもらって良かった」と感じ合える関係を作っていくことがサービス介助士の使命ともいえます。

出典：(公財)日本ケアフィット共育機構



車椅子 (車いす) ご利用の方の介助



お身体を 動かしにくい方のお手伝い

画像提供：(公財)日本ケアフィット共育機構



取り組み2

多様な人材が活躍 成長でき安心して働ける環境づくり

【2030年に向けた指標】

外国人採用10人 女性役職者比率35%

iKEYAKUグループの社員の60%、約半数以上が女性社員です。女性が働きやすい職場環境づくりのために女性社員の声を多く取り入れていきます。また、少子高齢化が進む中で、人材の確保は急務。多様な人材が活躍できるよう環境整備を行います。

【指標に向けた取り組み】

▶外国人採用 10人

- ・定期的な採用を行い、教育の支援と住環境整備を実施

▶女性役職者比率 35%

- ・研修制度の充実
- ・女性が働きやすい職場環境の整備



取り組み3

脱炭素に向けた取り組み

【2030年に向けた指標】

ペーパーレス化、LED照明の導入、電気自動車並びにハイブリット車を導入

【指標に向けた取り組み】

▶ペーパーレス化

- ・ 不必要な紙媒体の資料は無くし、会議時にiPadを支給してデータで確認
- ・ 再生紙を利用した名刺の作製

▶LED照明の導入

- ・ 新設、改装する建物、看板等照明のLED化

▶電気自動車並びにハイブリット車の導入

- ・ 優先的に電気自動車並びにハイブリット車を導入

